

# Shin Club 47

（株）辰 通信 Vol. 47

2004年2月

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7F

Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

編集発行人: 松村典子

## 今月のトーク

### 「外国人が日本で家を建てるということ」

マーク・スミスさんは、シアトル出身のアメリカ人です。外資系メディア・カンパニーでAsia Head of Sales として仕事をされています。学生時代は北京師範大学(Beijin Normal Univ.)で中国語を学んでいましたが、1989年、「天安門事件」に遭遇し、中国に取材に来たCNNの現地ガイドとして活躍、その後、香港で日本人である奥様と出会い結婚、今では3人のお子様に恵まれています。今回弊社施工で家を建てられたスミスさんに、設計の鈴木基紀氏(空間設計社)とお話をうかがいました。

- ほとんどの外国の方が、会社の補助で賃貸住宅に住んでいる中、日本でなぜ家を建てようと思ったのですか。

スミス: これからもアジアで仕事を行っていくし、自分の子供の教育もあるので、それなら財産として残る形で住宅を建てたいと考えました。そして、家を建てるのなら価値が変わらない、古くからある由緒ある町をまず考えました。田園調布は、危険もなく、よい環境です。さらにここは通りから一本入っており、車の出入りもなくプライバシーも守られます。高台なのでほんとに景色がいい。何しろ富士山まで見えるんですから。

- 家を建てる方法としては、いくつかの選択肢があったと思うのですが、なぜこの設計・施工の方法を選んだのですか。

スミス: そうですね。ハウスメーカーは、建物がきれいで早く出来るのですが、素材がいつまでもつのか(lasting)、不安に思えました。建売住宅には、住みたいと思える家が見つかりませんでした。仕切りが多すぎて…。

奥様: 入るなり、「NO」でした。壁をトントンたたいて、materialがcheapで満足できないようでしたね。

スミス: 最初にもちろん中古住宅を修繕することを考えました。父が一時建物のリノベーションを手がけていましたから、小さいときから建物をデザインするのを見ていました。しかし、日本の中古住宅はあまりに古かったり、せまかったり、修復しなくてはならない部分が多すぎて結局仕

事が多くなる。それであきらめました。

奥様: 3歩入ったら、もう見えないんです。shockだと言いました。(笑) スミス: 大手ゼネコンの設計施工でも良かったんですが、親しくしている不動産会社の人が辰を紹介してくれました。社長が正直で率直ですし、設計の鈴木さんの仕事にもとても満足しています。

- それにしても、スミスさんは図面を見て実際にどうなるか、きちんとイメージできるようです。

鈴木: 試行錯誤を重ね、基本設計には5ヶ月を費やしましたが、スミスさんは図面をよく読み、ロジカルな思考展開が出来ると感じました。どこかで勉強されましたか。アメリカではこのような建て方は普通なのですか。

スミス: いえ、専門に勉強はしていません。好きなんです。アメリカでは2x4の住宅がほとんどです。規格化住宅ばかりです。家具職人のダレン氏に今回の設計図を見せましたが、「日本の設計者はこんなにたくさん仕事をしてくれるのか」と驚いていました。あちらでは大きな図面はせいぜい14,5枚ですから。

奥様: 主人は一つの事が納得できないと、次に進まない人なんです。だから、私はお任せでした。

スミス: そういう意味では僕はラッキーですね(笑)。夫婦が二人とも自己主張していたら、家は建ちませんね。

鈴木: 今回日本で家を建ててみて、日本の建設業界について何か感じた事はありますか。

スミス: キッチンなど家具一式は全て父の代から親しくしているアメリカの職人に注文しましたが、運搬費を入れても日本の既存のメーカーよりもかなり安く出来ました。いろんなものが高すぎます。素材も欧米では質の良いものが安い。日本では土地も高いし、アメリカなら同じ金額で豪邸が買えます。でもこの家は、日本風なところと欧米的な素材がミックスされたいい家になったと思います。日本の木造の伝統技術は本当に素晴らしいですね。軸組みなどには感心しました。私は今回のプロジェクトをとても楽しむことが出来ました。

- 地鎮祭や上棟式なども設計の鈴木さんの英訳でご理解いただき、楽しまれたようですね。本日はありがとうございました。

構造: RC造+木造 地上2階 用途: 専用住宅 設計: 鈴木基紀 / (有)空間設計社



全景。クリーム色の外壁。階段を上がり、左手から玄関へ。ダイニングの吹き抜け部分。階段。踊場下がトイレ、右手が洗面とバス。洗面所 2階の子供部屋。高い天井には、小さな天窗が開いている。建物を道路から見上げる。手前の家の桜が目隠しになる。春、満開のときの桜は圧巻。キッチン。アメリカの家具職人ダレン氏に製作を依頼。アメリカではキッチンが客がデザインからオーダーするのが普通。ダイニングからリビングを臨む。ガス式暖炉があたたかい。反対側のリビングからダイニングを臨む。ダイニングの奥にユーティリティスペースがある。

## TOPICS

### 「神宮前5179計画(ベルコート芙蓉)」お引渡し 12月12日

表参道ディオール脇道をキャットストリートと平行に250メートル程進んだ右手に、黒い建物が立ちあがりました。店舗・賃貸住宅を併せ持つ個人住宅です。設計の桑原聡氏に話をうかがいました。

桑原: 施主は神宮前に生まれ育った方です。敷地は施主が幼少時に過ごされた場所で、その後、「芙蓉荘」という名の木造アパートとして利用されていました。

4年程前から建て換えの計画があり、プレハブメーカーの設計施工での計画により、着工直前までこぎつけたのが2年前の3月でした。しかしそのままのプレハブ案で、はたしてテナント付けができるのかどうか不安になった施主が、古くからこの地で不動産仲介業を営む豊田土地建物に相談し、計画がスタートしました。

- 「借地権上の契約条項により堅固な建物が建てられない」「北側に高さ3Mを超える大谷石の擁壁を背負っている」などの悪条件を逆手にとって、計画は進められました。

桑原: 検討の結果、2.5M掘り下げた半地下部分を、借地権上は基礎とみなすことでRC造として成立させ、大開口と高天井をもつテナントスペースを確保しました。

そしてその上部に軽量鉄骨で鳥籠状にフレームを組み、3.6Mの天井高を確保した最上階部分には、施主の息子さん夫婦の住宅、



全景 屋上デッキ。渋谷方面を臨む。地下1階店舗部分。2階オーナー邸リビング 屋上デッキから2階浴室を見下ろす。天窗は開閉自由。屋上デッキ夜景。天窗と塔屋。構造: 鉄骨造、一部RC造 地下1階 地上2階 用途: 共同住宅 物販店舗 設計: 桑原聡建築研究所 撮影: ナカサアンドパートナーズ

### 「大倉山の家」お引渡し (2003年12月18日) 横浜市

白を基調にした内装。吹き抜けのリビングには、大きな開口部。地下のアスレチックルームに隣接するドライエリアまで、光がふんだんに入ります。屋上からの景色も抜群です。外階段や窓の目隠しには、木製ルーバーが用いられています。

構造: RC造 地上2階 地下1階 用途: 専用住宅 設計: (株)辰一級建築士事務所



### 「二十騎町の集合住宅」上棟式 (1月21日)

昨年末、南棟の鉄骨屋根、北棟のRC部分、全て上棟いたしました。上棟式は年明けとなり、多数の参加者で盛り上がりました。

構造: RC造一部鉄骨造 地上5階 用途: 共同住宅 設計: 北山恒 / (有)アーキテクチャーワークショップ 完成予定: 2004年5月



### 「成城M邸増築工事」上棟式 (1月10日)

立ち上がった棟の屋上での記念撮影です。お子様たちもがんばって上りました。天気もよく気持ちのよい上棟式でした。

構造: RC造 地上2階 地下1階 用途: 専用住宅 設計: (株)高田建築設計事務所 完成予定: 2004年3月



### 「南つくし野 H邸」上棟式 (1月24日) 町田市

施主であるH様からコメントを頂きました。「弁護士にして建築マニアである施主との骨の折れる議論、徹夜のコンクリート養生管理等々大変ご苦労をお掛けしています。おかげさまで上棟を迎えることができました。松村様、現場所長中村様に心から感謝しております。」

構造: RC造 地上2階 地下1階 用途: 専用住宅 設計: (株)辰一級建築士事務所 完成予定: 2004年3月

